

令和4年度（令和5年3月31日現在）貸借対照表

ペットメディカルサポート株式会社

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金 及 び 預 貯 金	1,243,583	保 険 契 約 準 備 金	767,785
現 金	133	支 払 備 金	150,364
預 貯 金	1,243,449	責 任 準 備 金	617,421
預 け 金	6,251	普 通 責 任 準 備 金	514,830
有 形 固 定 資 産	14,859	異 常 危 険 準 備 金	102,590
建 物	11,881	代 理 店 借	27,848
その他の有形固定資産	2,977	再 保 険 借	1,350,462
無 形 固 定 資 産	13,140	そ の 他 負 債	357,349
ソ フ ト ウ ェ ア	13,140	未 払 法 人 税 等	115,270
再 保 険 貸	1,288,569	未 払 金	63,347
そ の 他 資 産	177,991	預 り 金	5,379
未 収 金	291	仮 受 金	173,351
未 収 保 険 料	112,495	賞 与 引 当 金	12,000
前 払 費 用	6,587		
預 託 金	58,577	負 債 の 部 合 計	2,515,445
そ の 他 の 資 産	38	純 資 産 の 部	
繰 延 税 金 資 産	38,934	資 本 金	332,750
供 託 金	33,000	資 本 剰 余 金	65,750
		資 本 準 備 金	65,750
		利 益 剰 余 金	△97,616
		そ の 他 利 益 剰 余 金	△97,616
		繰 越 利 益 剰 余 金	△97,616
		株 主 資 本 合 計	300,883
		純 資 産 の 部 合 計	300,883
資 産 の 部 合 計	2,816,329	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	2,816,329

貸借対照表に関する注記

1. 会計方針に関する事項

(1) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定率法によっております。ただし、建物及び平成28年4月1日以降に取得した建物付属設備については定額法によっております。

② 無形固定資産

定額法によっております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

(2) 賞与引当金の計上基準

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、将来の支給見込額のうち当期負担額を計上しております。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

2. 会計上の見積りについて

会計上の見積りにより当事業年度に係る計算書類にその額を計上した項目であって、翌事業年度に係る計算書類に重要な影響を及ぼす可能性があるものは、次のとおりです。

(1) 繰延税金資産

① 当事業年度に係る計算書類に計上した額 38,934千円

② 見積内容に関する情報

繰延税金資産は、将来の事業計画に基づく課税所得の発生時期及び金額によって見積もっています。また、将来の不確実な経済条件の変動によって影響を受ける可能性があり、翌事業年度の計算書類において、繰延税金資産の金額に重要な影響を及ぼす可能性があります。

3. 会計方針の変更等に関する事項

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日、以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当事業年度の期首から適用し、時価算定適用指針第27-2項に定める経過的な取り扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって、適用することといたしました。これによる計算書類に与える影響はありません。

4. 金融商品の状況に関する事項及び金融商品の時価等に関する事項

(1) 金融商品の状況に関する事項

当社は、少額短期保険業を行っており、資産の運用においては運用資金の性格を考慮し、「安全性」「収益性」「流動性」「公共性」を総合的に判断し、社会・公共の福祉に資するような資産運用を目指しております。おもな運用手段は預貯金等であり、市場関連リスクや信用リスクに晒されております。リスク管理を含めた資産運用状況については、取締役会へ月次で報告しております。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

現金は注記を省略しており、預貯金及び未収保険料は短期間で決済されるため時価が帳簿価額と近似することから、注記を省略しております。

5. 有形固定資産の減価償却累計額は10,528千円です。

6. 繰延税金資産の発生の主な原因は、責任準備金です。

7. 支払備金の内訳

普通支払備金	112,580千円
既発生未報告損害	1,391,064千円
計	1,503,644千円
同上に係る出再支払備金	1,353,280千円
差引	150,364千円

8. 責任準備金の内訳

普通責任準備金の内訳

普通責任準備金	2,134,179千円
同上に係る出再普通責任準備金	1,619,348千円
差引	514,830千円

異常危険準備金

異常危険準備金	739,638千円
同上に係る出再異常危険準備金	637,048千円
差引	102,590千円

9. 1株当たりの純資産額は、33,784円71銭です。

令和4年度 令和 4年 4月 1日から
令和 5年 3月31日まで 損益計算書

ペットメディカルサポート株式会社

(単位: 千円)

科 目	金 額
経常収益	10,696,772
保険料等収入	10,696,445
保険料	5,709,690
再保険収入	4,986,754
回収再保険金	2,711,072
再保険手数料	2,244,994
再保険返戻金	30,688
資産運用収益	10
利息及び配当金等収入	10
その他経常収益	316
経常費用	10,436,935
保険金等支払金	7,909,369
保険金等	2,736,550
解約返戻金等	34,097
再保険料	5,138,721
責任準備金等繰入額	226,387
支払備金繰入額	28,322
責任準備金繰入額	198,064
事業費	2,300,942
営業費及び一般管理費	2,281,456
税金	11,522
減価償却費	7,963
その他経常費用	236
経常利益	259,836
特別損失	14,135
減損損失	14,135
税引前当期純利益	245,701
法人税及び住民税	149,305
法人税等調整額	△10,338
法人税等合計	138,966
当期純利益	106,734

損益計算書に関する注記

1. 主な収益及び費用に関する内訳

(1) 正味収入保険料

保険料	5,709,690 千円
再保険戻戻金	30,688 千円
計	5,740,378 千円
出再保険料	5,138,721 千円
解約戻戻金等	34,097 千円
差引	567,559 千円

(2) 正味支払保険金

保険金等	2,736,550 千円
回収再保険金	2,711,072 千円
差引	25,478 千円

2. 支払備金繰入額

支払備金繰入額	283,226 千円
出再支払備金繰入額	254,903 千円
差引	28,322 千円

3. 責任準備金繰入額(△は責任準備金戻入額)

普通責任準備金繰入額

普通責任準備金繰入額	512,189 千円
出再普通責任準備金繰入額	331,970 千円
差引	180,219 千円

異常危険準備金繰入額

異常危険準備金繰入額	171,085 千円
出再異常危険準備金繰入額	153,241 千円
差引	17,844 千円

4. 利息及び配当金収入

資産運用収益は全て預貯金利息です。

5. 1株当たり情報

1株当たり当期純利益	14,193円46銭
------------	------------

6. 関連当事者との取引は以下の通りです。

属性	会社等の名称	議決権の所有 (被所有) 割合	関連当事者との 関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
役員が議決権の過半数を有している会社	株式会社 ビクシー	14.76%	業務委託、出向	広告業務の委託等	1,015,791	未払金	15,641
				代理店手数料	193,168	代理店借	18,534
				出向料の受取	4,801	未収金	106

取引条件及び取引条件の決定方針等

当社と関連を有しない他の事業者との条件を参考に交渉の上、決定しております。

7. 減損損失

当社は、以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

場所	用途	種類	金額 (百万円)
東京都港区	遊休資産	ソフトウェア等	14

(資産のグルーピングの方法)

当社は、主として全社をグルーピングの基礎とし、遊休資産については前記グルーピングから区別してグルーピングを行っております。

(減損損失の認識に至った経緯及び回収可能額の算定方法)

当社の遊休資産については、これまでに開発に要した費用について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づいて回収可能性を検討し、今後の利用見込み等を勘案した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当期減少額を減損損失として特別損失に計上しております。